



5 月定例記者会見・次第

日 時 平成 31 年 4 月 26 日(金)10 時 00 分～
場 所 塩竈市役所 2 階会議室

— 説明項目 —

市民総務部

1. 塩竈市協働まちづくり提案事業を募集します[市民安全課(361-1773)]..... 1P

健康福祉部

2. 平成 31 年度塩竈市ライフプランニング支援事業

『エンディングノート』無料配布と活用講座～今日を明日につなげるために～ [長寿社会課(364-1204)]..... 2P

- 3・第3期塩竈市食育推進計画「おいしおがま推進プラン」・塩竈市自殺対策推進計画の策定 [健康推進課(364-4786)] . 3P

産業環境部

4. 「サバ」いて“変身”おいしいクッキング in 塩竈市魚市場[水産振興課(781-7706)]..... 4P

5. 「倉敷×塩竈×松島 観光・特産品交流フェア in 仙台駅」[観光交流課(364-1165)] 5P

建設部

6. 危険ブロック塀の早期改善を目的に除却補助金を最大2倍に増額に[定住促進課(364-1126)]..... 6P

教育委員会教育部

7. 小学生が浦戸寒風沢島で田植え体験～浦戸小学校～[浦戸小中学校(369-2412)]..... 7P

— 資料提供項目 —

1. 5 月の日程..... [市民総務部政策課(355-5764)]
2. 「春の交通安全県民総ぐるみ運動」の実施について..... [市民総務部市民安全課(355-6486)]
3. しおがま“何でも”体感団で 塩竈の歴史や文化を感じよう！ [教育部生涯学習課(362-2556)]
4. スマイル通信 5 月号 [産業環境部観光交流課(364-1165)]
5. Domenica 64 ペールギェント物語 ～ピアノ連弾とお話し～ [生涯学習センター(367-2010)]
6. まちと記憶と映画館～若き日の思い出編 青春を歌う うたごえ喫茶 [塩竈市杉村惇美術館(362-2555)]
7. 遊ホールイベント情報 [市民交流センター(365-5000)]
- 「未来を創る」塩竈市教育委員会 News(第 24 号) [教育部教育総務課(362-7744)]
- 公民館だより WAY・エスプ KID'S..... [生涯学習センター(367-2010)]
- 本の杜・プクちゃんつうしん・しおかぜ・話題の本棚・2019 年こどもの読書週間ブックリスト.... [市民図書館(365-4343)]

塩竈市協働まちづくり提案事業を募集します

地域の活性化や課題の解決など、協働してまちづくり活動に取り組む町内会や市民活動団体に対し、助成金を交付します。

1. 対象団体：①市内町内会・区会
②市民活動団体 ※協働推進室の利用登録台帳に登録された団体
③学校
④その他適当と認める団体
2. 対象事業：①地域の協働やコミュニケーションが推進されるもの。
②塩竈市の特色を生かし、その魅力を高めるもの。
③地域の活性化が図られるもの。
④地域課題の解決が図られるもの。
⑤地域の自助力向上が図られるもの。
⑥その他、助成することが適当とみとめられるもの。
3. 期待される効果：①町内会や市民活動団体等が連携・協働して事業を行うことで、市民力の向上につながります。
②自主的・主体的に取り組むまちづくり活動が促進され、市民が地域の担い手であるという意識が向上します。
③市民目線に立った活動が行われます。
④複数年の支援とすることで、継続的かつ自立した事業への発展が期待されます。
⑤採択団体が成果を発表していただき、他団体の新たな活動のきっかけをつくります。
4. 限度額：1事業あたり30万円（対象経費の9割）
※翌年度以降に継続する場合…2年目は20万円、3年目は10万円
5. 選定方法：塩竈市協働まちづくり提案事業評価委員会を立ち上げ、各委員の意見をもとに選定します。
6. 募集期間：平成31年4月25日（木）～5月31日（金）
7. 提出書類：①事業計画書（事業目的、効果、概要、事業スケジュール）
②収支予算書
③団体の資料（団体設立目的、団体規約、会則、活動実績等）
8. 成果発表会：令和2年4月開催（予定）

始めてみませんか？

エンディングノート

～今日を明日につなげるために～

「もしも」に備えて自分の思いを整理する「エンディングノート」の活用方法を学ぶ、終活初心者向け講座です。自分のために、家族のために、今日を明日につなげるために、一緒に考えてみませんか。

と き 2019年**5月31日(金)**

①10:00～ ②14:00～ ③18:30～

2019年**6月1日(土)**

④10:00～ ⑤14:00～

※①～⑤各回内容同じ 90分程度

と ころ 壱番館5階会議室(塩竈市本町1番1号)

対 象 者 ・ 塩竈市内にお住まいの方
・ 支援を要する親族が市内にお住まいの方

定 員 各回**30名(予約制)**
窓口、電話、ファクシミリにて
お名前・連絡先・希望日時を
お知らせください。

そ の 他 ・ **受講料無料**
・ 受講者全員に**エンディングノート1冊進呈**
・ **筆記用具**をお持ちください
・ できるだけ**公共交通機関**をご利用ください

お申込み・お問合せ先 **塩竈市 長寿社会課 長寿支援係**

〒985-0052 塩竈市本町1番1号 壱番館庁舎1階

電話：022-364-1204 FAX：022-366-7167

時間：9時から16時(月～金、祝日除く)



～今日を明日につなげるために～

エンディングノート

無料
配布

塩竈市では、「もしも」に備えて自分の思いを整理する「エンディングノート」を作成いたしました。自分のために、家族のために、今日を明日につなげるために…。下記のとおり配布いたします。



配布開始 2019年6月3日(月)9時～

配布場所 壱番館庁舎1階 (塩竈市本町1番1号)
長寿社会課4番窓口

時間 月曜日～金曜日(祝日除く) 9時～16時

配布部数 500冊 (在庫がなくなりしだい終了)

対象者 ・塩竈市内にお住まいの方
・支援を要する親族が市内にお住まいの方

その他 ・無料配布 (対象者1人1冊)

・1冊につき1回、簡単なアンケートにご協力いただきます

お問合せ先

塩竈市 長寿社会課 長寿支援係

塩竈市本町1番1号 壱番館庁舎1階

電話: 022-364-1204

アンケートにお答え下さい あてはまるものにをお願いします。 受取日 年 月 日

1. エンディングノートを受け取りに来た方について

①あなたのお住まいは? 塩竈市(町名) その他(市町村名)

②あなたの性別は? 男性 女性

③年齢は? 90代以上 80代 70代 60代 50代 40代 30代 20代以下

2. エンディングノートの対象者について ※対象が上記1と同じ方なら、②と③は記載不要です。

①対象はどなたですか? 自分 配偶者 親 祖父母 きょうだい

※②対象の方のお住まいは? 塩竈市(町名) その他(市町村名)

※③年齢は? 90代以上 80代 70代 60代 50代 40代 30代 20代以下

3. エンディングノートを活用する目的について(複数回答可)

人生の振り返り 介護,医療 葬儀 相続 家族へ 友人,知人へ

4. ご意見など



平成31年度

塩竈市

マイエンディング ノート



名前

第3期塩竈市食育推進計画 おいしおがま推進プラン

(2019年度～2023年度)

(概要)



塩竈市

「食育推進計画」って何？

塩竈市では、おいしおがま推進プラン（塩竈市食育推進計画）第2期[平成26～30年度]に続き、第3期計画を策定しました。

生涯を通じて健康に過ごすため、食に関する正しい知識を学び、食材の宝庫塩竈で、美味しく健康的な食生活を実践しましょう！

「食育」って何？

食育とは、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもので、様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てることです。

「食育基本法より」

これまで取り組んできたこと ～第2期計画（H26～H30年度）～

「おいしおがま」食から始まる健康づくり”を食育推進スローガンに、市民や関係団体、事業者、行政が連携し、様々な事業を実施してきました。

基本方針

1. 食と健康に関心を持った生活の実現
2. 豊かな心を育む食育の推進
3. 食育を広げる環境づくり

重点施策

健全な食生活の推進

- 各ライフステージに沿った情報の提供
- 食育チェックシート活用の推進

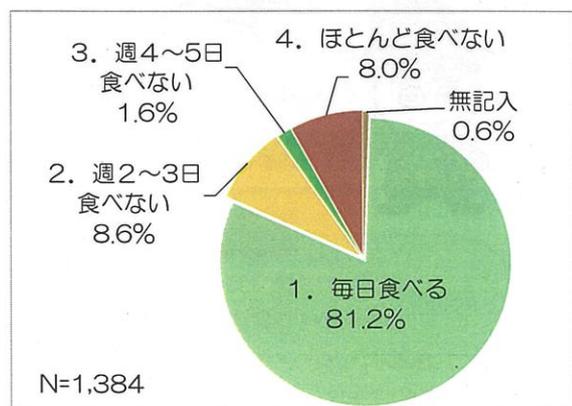
地域食材をとおした食育の推進

- 魚介類を取り入れた料理や食事の魅力、栄養などについて、知識の向上と調理方法の普及を推進

塩竈市の食の現状 ～H30 市民食育アンケートから見てきたもの～

あなたは朝食を食べていますか？

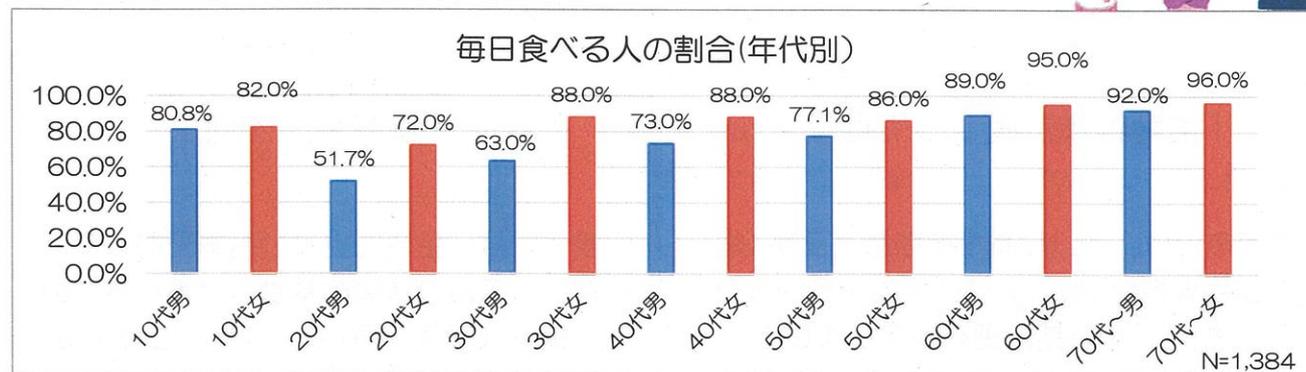
平成 30 年 6 月から 9 月にかけて、10 代～70 代以上の市民を対象に、食育アンケートを実施しました。その結果のなかから、「朝食」についての結果をお知らせします。



アンケートの回答者 1,384 名のうち、朝食を毎日食べる人は 81.2%、それ以外は 18.2%でした。

年代別では、**20代と30代男性の朝食欠食率が高く**、20代男性のうち 48.3%、30代男性のうち 36.4%の人が朝食を食べていませんでした。

子育て世代の朝食欠食は、次世代である**子どもの食習慣にも影響**します。



どうして朝食をたべないの？



食欲がない
(32.1%)



時間がない
(27.4%)



食べる習慣がない
(22.2%)

これからの取り組み ～第3期塩竈市食育推進計画のイメージ～

3期計画では、2期計画の評価や食育アンケート等から見えた、新たな食生活の課題、市民意識の変化、社会的ニーズ等を踏まえ、「食と健康に関心を持った生活の実現」「豊かな心を育む食育の推進」「食育を広げる環境づくり」の3つの基本方針と、食育スローガンである“食から始まる健康づくり”を継承し、次の重点施策に取り組みます。

《 重点施策 》

○こどもの未来に継承する
調和のとれた食生活の推進
家庭や地域の中で、
こども一人ひとりの食べる力を
豊かに育む

○食の楽しさ広げる
共食の推進
子どもから高齢者まで、
仲間と一緒にの機会を増やし、
一緒に食べる楽しさを味わう

○食でつながる
市民のきづなづくり
将来につなげる
地域の食育推進のための
市民のきづなづくり

塩竈の食育の目標 (一部掲載)

塩竈市では、食に関する課題の改善状況を分かりやすくするため、目標値を設定し、家庭、保育所・幼稚園、学校、地域、企業(事業者)、行政等がお互いに連携、分担しながら目標達成を目指します。

朝食を毎日食べる人の割合 ※1
(20～30代)
69.2% ⇒ 70%

朝食で 頭と体の
スイッチオン!!



適正体重の人の割合 ※2
(特定健診受診者 男性)
51.7% ⇒ 54%
(特定健診受診者 女性)
47.3% ⇒ 50%

適正体重維持で
生活習慣病予防!!



**主食・主菜・副菜をそろえて食べる
ようにしている人の割合** ※3
71.2% ⇒ 80%

そろえて食べて
バランス意識!!



栄養成分表示を確認する人の割合
60%

栄養成分表示は
健康づくりに役立つ
重要な情報源!!



ライフステージごとの取り組み

食は一生をつうじて健康な生活を送るための基本であり、子どもから高齢者までのライフステージごとに、身体や心の成長、社会性を踏まえた食育を実践していくことが大切です。

<p>子ども (概ね 18 歳以下)</p> 	<p>望ましい食習慣の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> • 健やかに生きていくための基礎となる食生活のリズムを身につける。 • 給食や行事、家庭での手伝いを通し、健全な食生活に関する知識、技術を身につける。 	<p>若い世代 (概ね 19~39 歳)</p> 	<p>望ましい食習慣の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自身の健康に関心を持ち生活習慣病予防や健康増進のための食生活を実践する。 • 子どもたちに食の大切さ、楽しさを伝え、家庭における食育の推進に努める。
<p>働き盛り世代 (概ね 40~64 歳)</p> 	<p>健康維持のための食生活の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> • 各種健(検)診を受診し、自身の健康状態を把握する。 • 年齢や生活スタイルにあった理想的な食習慣を身につけ、生活習慣病の予防に努める。 	<p>高齢期 (概ね 65 歳~)</p> 	<p>心豊かな食生活の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自身の身体変化に合わせた食生活、健康寿命延伸のための、健康管理を実践する。 • これまで培ってきた食に関する豊富な知識、技術を伝承する。

「おいしおがま食育レシピ」ご紹介♪

体も温まる 塩竈ならではの味！

しおがま汁

材料 (2 人分)

サンマ(すり身)・・・40g
 タラ(角切り)・・・40g
 大根・・・・・・・・100g
 ニンジン・・・・・・・・1/3 本
 長ネギ・・・・・・・・1/4 本
 豆腐・・・・・・・・1/6 丁
 水・・・・・・・・400cc

A { おろし生姜・・・・・・・・小さじ 1/2
 みそ・・・・・・・・小さじ 1/2
 片栗粉・・・・・・・・小さじ 2

B { 濃口しょうゆ・・・・・・・・小さじ 1 強
 食塩・・・・・・・・少々
 酒・・・・・・・・少々
 和風だしの素・・・・・・・・少々

給食担当者からひと言

市場見学に訪れた小学生が寒さに震えている姿を見て、魚市場で働く方々がふるまったのがはじまりです。給食でも、サンマのすり身はひとつひとつ鍋に落としていねいに作っています。



作り方

- ①サンマのすり身に A の調味料を入れ、よく練って味付けをしておく。
- ②大根、ニンジンはいちょう切り、豆腐は角切り、長ネギはななめ切りにする。
- ③鍋に水 400 cc と大根、ニンジンをを入れて煮る。火が通ってきたら、①をスプーンで丸めながら落とす。
- ④タラを入れ、B の調味料で味を整える。
- ⑤豆腐と長ネギを入れて仕上げる。

地元食材や季節の旬な食材を使ったレシピや、学校給食で人気のレシピ、食生活改善推進員イチオシのレシピ等、配信中！！塩竈市のホームページをご覧ください♪



塩竈市健康福祉部健康推進課(保健センター)

TEL: 022-364-4786

担当者: 健康総務係 大森、成人保健係 石山

塩竈の食育に関する情報を発信しています。



おいしおがま食育

検索



【概要】

塩竈市

自殺対策推進計画

2019 年度～2026 年度



塩竈市

計画策定の趣旨

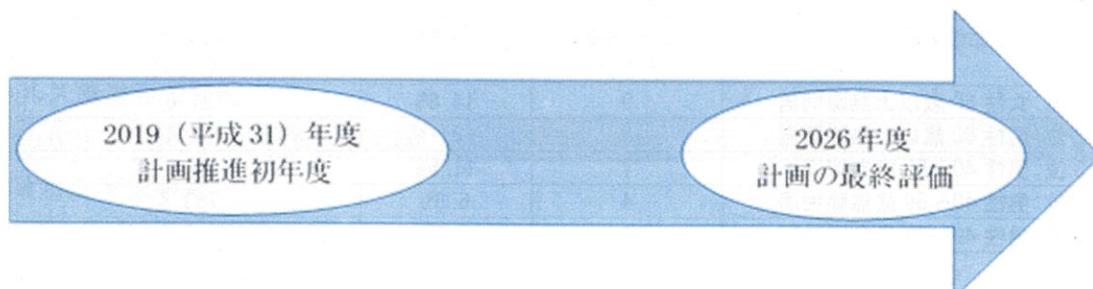
2016（平成28）年に自殺対策基本法の一部が改正され、保健、医療、福祉、教育、労働その他の関連施策との有機的な連携による総合的な自殺対策の実施が法の基本理念に加えられるとともに、市町村における自殺対策計画の策定が義務付けられたほか、2017（平成29）年に国が自殺総合対策大綱の大幅な見直しを行ったことを受け、本市においても計画を策定しました。

計画の位置付け

本計画は、「第5次塩竈市長期総合計画」を踏まえ、関連性する「健康しおがま21プラン」等、他の本市の計画と連携を図りながら、自殺対策基本法第13条の自殺対策計画として、本市の総合的な自殺対策の方向性と具体的な取り組みを示すものであり、自殺予防対策の基本となる計画です。

計画の期間

本計画の期間は、2019年度～2026年度の8年間とし、中間年度のほか、必要に応じた見直しを行います。



計画の目標

国、県の目標値および本市の状況を勘案し、本計画では2026年の直近5か年の平均自殺死亡率を、2012（平成24）年から2016（平成28）年までの5か年平均と比較して3割以上減少させることを目標とします。

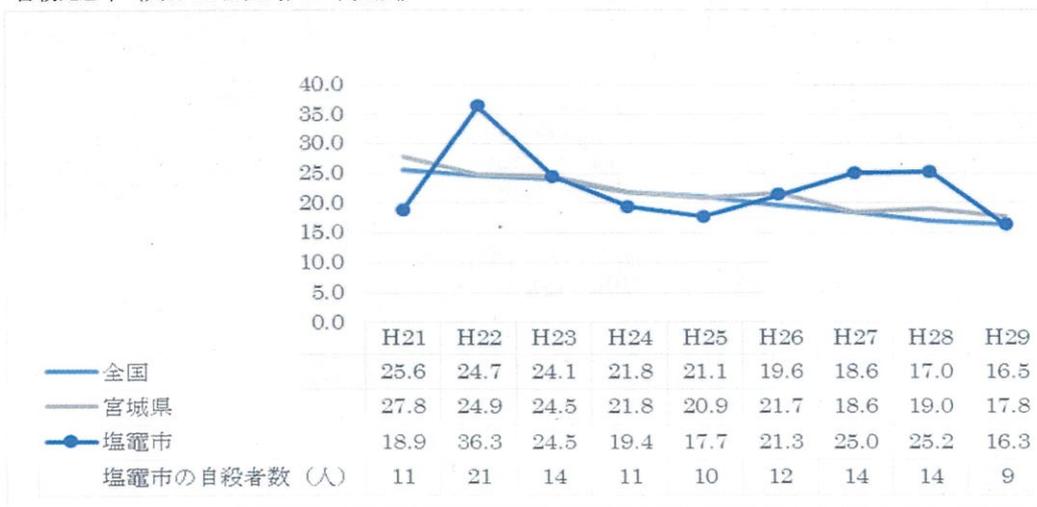
現状	目標	
2012（平成24）年～ 2016（平成28）年の平均	2026年 （2021～2025年の平均）	
20.1	14.1	自殺死亡率30%減

※人口動態統計（厚生労働省）より

塩竈市の状況

●本市における自殺死亡率の推移

H22をピークに減少に転じましたが、近年ではおおむね16.0～25.0の間で増減を繰り返しています。
自殺死亡率（人口10万人対）の年次推移

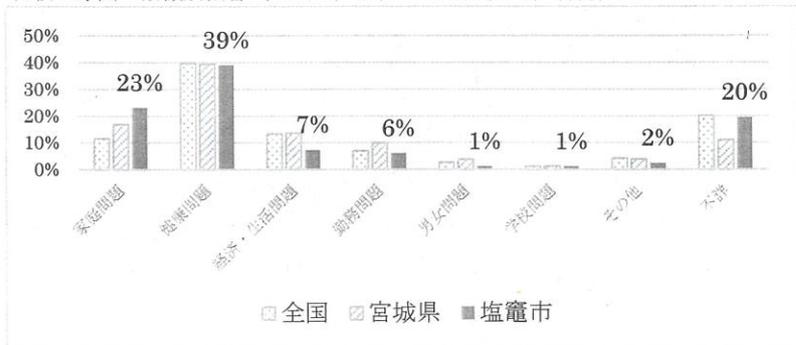


出典：地域における自殺の基礎資料

●自殺の原因・動機

「健康問題」が最も多く、国・県と同様の傾向ですが、「家庭問題」は全国、宮城県よりも割合が高い傾向です。自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、単一要因により起こるものではないとされています。

自殺の原因・動機別割合（2012（H24）～2016（H28）合計）



出典：地域における自殺の基礎資料

●男女ともに60歳以上の自殺者が多く、いずれも無職かつ同居の割合が高い傾向にあります。

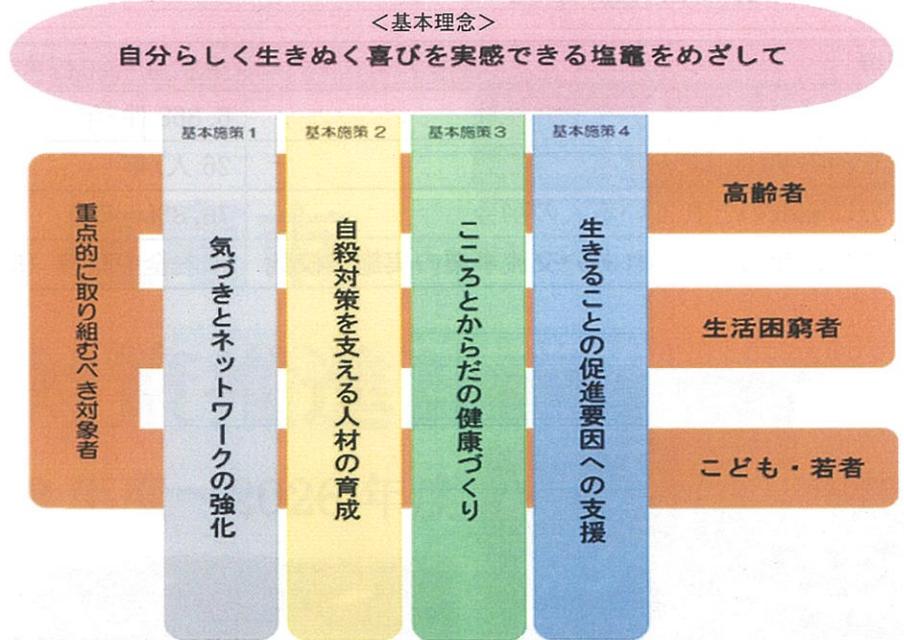
本市の自殺の主な特徴（2012（H24）～2016（H28）合計）

上位5区分	自殺者数 5年計	自殺者割合	自殺率 (10万対)
1位:女性60歳以上無職同居	9	14.8%	21.6
2位:男性60歳以上無職同居	8	13.1%	32.4
3位:男性40～59歳有職同居	7	11.5%	25.5
4位:男性40～59歳無職独居	4	6.6%	763.8
5位:男性40～59歳有職独居	4	6.6%	116.1

出典：地域自殺実態プロフィール（2017）

基本理念

国が提唱する「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して」と、第5次塩竈市長期総合計画のまちづくりの目標の一つである「だれもが安心して暮らせるまち」を踏まえ、右記の枠組みで自殺対策を進めます。



重点的に取り組むべき対象者

高齢者

- ・地域包括ケア体制の構築による、心身の健康の保持増進と孤立予防の促進

生活困窮者

- ・各種支援制度を通じた経済的自立の促進
- ・関係機関を招集した連携会議の開催、研修会の実施

子ども・若者

- ・関係者の連携促進による、切れ目のない支援の充実
- ・児童・生徒のSOSの出し方教育の推進

基本施策と主な取り組み

※「◎」「○」は各施策と「重点的に取り組むべき対象者」との関連度を表しています

	高齢者	生活困窮者	子ども・若者
基本施策Ⅰ 気づきとネットワークの強化			
「こころの体温計」を活用した啓発活動	○	○	◎
地域包括支援センターの運営	◎	○	
塩竈市自殺対策推進本部・自殺対策庁内連絡会議	○	○	○
広報・ホームページによる啓発・周知	○	○	○
基本施策Ⅱ 自殺対策を支える人材の育成			
教職員向け研修の実施			◎
認知症サポーター養成講座	◎		
こころのサポーター講座(自殺予防ゲートキーパー養成講座)	○	○	○
相談対応職員スキルアップ研修	○	○	○
基本施策Ⅲ こころとからだの健康づくり			
国保特定健康診査の実施	○	○	
健康づくり推進事業(ダンベル体操普及等)	○	○	○
メンタルヘルス講演会の開催	○	○	○
基本施策Ⅳ 生きることの促進要因への支援			
生活困窮者自立支援事業		◎	
中学生と赤ちゃんふれあい交流事業			◎
精神保健相談事業	○	○	○
遺された人への支援	○	○	○

主な評価指標（※一部抜粋）

指標	現状値（2017年度）	目標値（2026年度）
「こころの体温計」アクセス件数	6,868件/年	10,000件/年
こころのサポーター講座受講者数	26人/年	延200人増
十分に睡眠のとれている人の割合	76.8%	90%以上
中学生と赤ちゃんふれあい交流事業の実施学校数	市内全中学校（5校）	市内全中学校（維持）



メンタルヘルス講演会



こころのサポーター講座



中学生と赤ちゃんふれあい交流事業

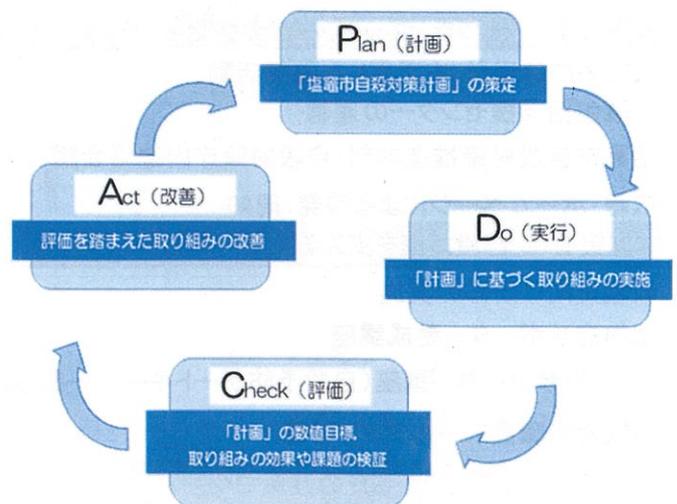
自殺対策の推進体制等

1. 自殺対策の推進体制

計画に基づく施策を総合的かつ効果的に推進するため、県、保健所等の行政や学校、警察等の関係機関、塩竈市民生委員児童委員協議会をはじめとする地域組織等において相互の情報交換や連携を推進します。また、自殺対策推進本部を設置し、関係各課による自殺対策庁内連絡会議を開催し、各事業の実施状況を確認するとともに、自殺対策の一層の推進を図ります。

2. 自殺対策の評価・検証

PDCA サイクルのプロセスにより、自殺対策の施策や取り組みの効果を評価・検証し、その結果及び国や県の動向を踏まえつつ、本計画の実効性を高めるものとして必要に応じて取り組み等を改善し、継続的に自殺対策を展開します。



こころの健康に関する情報や、計画の本文はコチラから⇒

塩竈市 こころの健康

検索

「サバ」^{へんしん}いて“変身”おいしいクッキング in 塩竈市魚市場

若年層を中心に魚食離れが進むなか、本市の基幹産業である水産業を学び、地元で生産・加工される魚にふれる機会を創出し、魚食普及を図るものです。

今回も宮城学院女子大学と連携し、サバの学習及び調理を行います。生産者・消費者・魚市場がともに取り組む魚食普及事業は全国に例はほとんど無く、「塩釜モデル」として、全国から注目されております。

期 日：平成31年5月11日（土） 9：45～

場 所：塩竈市魚市場中央棟 大会議室及び魚食普及スタジオ
塩竈市新浜町一丁目13-1

対象者：市内小学校3～6年生

内 容：・サバについての学習 ・さばき方、料理作り ・試食



↑平成30年8月10日開催
「カツオ教室の様子」



↑平成30年11月11日開催
「マグロ教室の様子」

主 催：宮城学院女子大学、塩釜市水産振興協議会 共催：塩竈市

問い合わせ先

塩竈市産業環境部水産振興課水産係 担当：佐藤 電話：022-781-7706

「サバ」いて“変身”おいしいクッキング in塩竈市魚市場



平成31年 **5月11日** (土) 9:30~

- ◆参加料：500円 (材料費、保険料込)
- ◆定員：25名前後 (小学校3~6年生)
- ◆場所：塩竈市魚市場中央棟 塩竈市新浜町一丁目13-1
- ◆申込締切：平成31年4月20日 (土) 17:00 必着
(申込み多数の場合は抽選。当選者には5月8日までに通知いたします。)

■主催：宮城学院女子大学、塩釜市水産振興協議会
■共催：塩竈市

問合せ：塩釜市水産振興協議会
TEL：022-781-7706 FAX：022-364-2223

「サバ」^{へんしーん}いて“変身”おいしいクッキング in 塩竈市魚市場

目的：若年層を中心に魚食離れが進むなか、地元である塩竈市魚市場に水揚げされる魚を学び、基幹産業である水産業や魚に触れる機会を創出し魚食普及を図ります。
今回も宮城学院女子大学と連携し、サバの学習及び調理を行うものです。

期 日：平成31年5月11日（土）

場 所：塩竈市魚市場中央棟 大会議室及び魚食普及スタジオ
塩竈市新浜町一丁目13-1

受 付：塩竈市魚市場中央棟大会議室

参加資格：小学校3～6年生（**お子さんのみの参加となります**）

定 員：25名前後（応募者多数の場合には抽選。当選者には、5月8日（水）までに通知いたします）

参加費：500円（材料費、保険料込）

スケジュール：

9：30～	9：45	受付
9：45～	9：50	開会
9：50～	10：15	サバについての学習
10：15～	10：20	グループミーティング
10：20～	11：30	サバ加工場見学
11：30～	12：10	サバ料理作り
12：10～	12：40	試食
12：40～	13：00	片付け
13：00～	13：20	各グループからの感想 アンケート記入
13：20～	13：30	閉会

※スケジュールは変更になる可能性があります。

主 催：宮城学院女子大学、塩釜市水産振興協議会 共催：塩竈市

【応募方法】下記の参加申込書に必要事項を記入し、郵送、FAXまたは事務局（水産振興課）へ持参のいずれかで、お申込みください。いただいた個人情報には本イベントに関する目的以外には使用いたしません。

申込み先：〒985-0001 宮城県塩竈市新浜町一丁目13-1（水産振興課内）
塩釜市水産振興協議会 宛
電話：022-781-7706 FAX：022-364-2223
（平日 8：30～17：15）

【申込締切】平成31年4月20日（土）17：00必着

サバ^{へんしーん}いて“変身”おいしいクッキング in 塩竈市魚市場 参加申込

フリガナ 氏名（お子様）	電話番号 - -	小学校 年生
フリガナ 氏名（保護者）	緊急連絡先 - -	
住所 〒		

倉敷×塩竈×松島 観光・特産品交流フェア in 仙台駅」について

岡山県倉敷市、松島町、塩竈市の 2 市 1 町で合同プロモーションと題した「首長合同トップセールス」及び「各市町の飲食品等の販売、観光PR」を下記のとおり開催します。

1. 目的

平成 25 年 7 月 12 日、岡山県倉敷市と地域間文化交流を締結し、また倉敷市と松島町は、同日に観光交流協定を締結。こちらの交流を促進するため「倉敷・塩竈・松島」の合同特産品フェアを開催することで、地域経済の振興を図ることを目的に行う。また宮城県内での開催とすることで西日本豪雨災害の被災地である倉敷市の観光振興を支援し、観光交流促進に努める。

2. 事業内容 ①首長合同トップセールスの実施

②各ブースでの飲食品等の販売

3. 共 催 倉敷市、松島町、塩竈市 他(予定)

4. 開催日時

◇オープニングセレモニー：平成 31 年 5 月 30 日(木) 10 時 00 分～10 時 30 分

◇出 店 時 間：平成 31 年 5 月 30 日(木)・31 日(金) 10 時 00 分～19 時 30 分

平成 31 年 6 月 1 日(土) 10 時 00 分～19 時 00 分

5. 開催場所 仙台駅 2 階スタンドグラス前(宮城県仙台市青葉区中央 1 丁目 1-1)

【これまでの合同プロモーション】

- ・平成 27 年 2 月 14・15 日 倉敷市、塩竈市、松島町観光物産品交流フェア(東京交通会館マルシェ)
- ・平成 27 年 7 月 11・12 日 倉敷市・塩竈市・松島町・南相馬市 観光物産品交流フェア(イオンモール名取)
- ・平成 28 年 11 月 15・16 日 倉敷×松島×塩竈 合同シティプロモーション(東京シティアイ)
- ・平成 29 年 7 月 7・8 日 宮城県松島町・塩竈市・岡山県倉敷市合同シティプロモーション(kobo パーク宮城)



問い合わせ先

塩竈市産業環境部観光交流課人・まち交流係 担当：佐藤 電話：022-364-1165

危険ブロック塀の早期改善を目的に除却補助金を最大2倍に増額に

塩竈市は平成31年5月7日より危険ブロック塀の除却費用を前年度と比較し、最大2倍（15万円から30万円）に増額します。

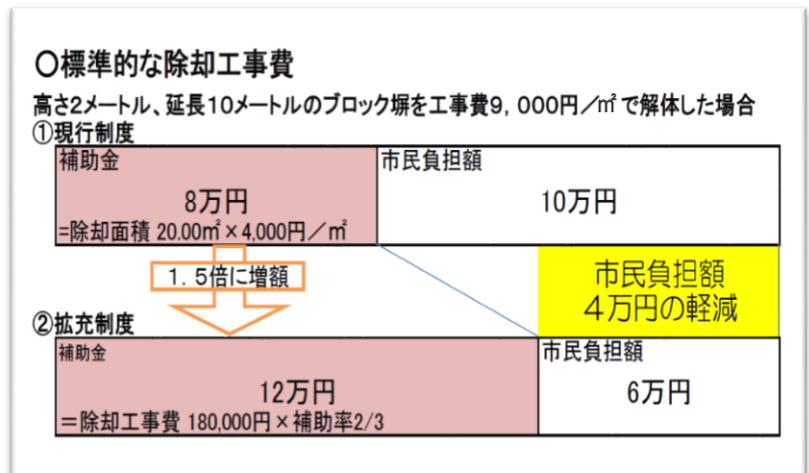
これは、大阪府北部地震の起因としたブロック塀倒壊事故を受け、塩竈市内の通学路や公道沿いの4,000件のブロック塀の緊急調査を実施し、そのうち危険と判断し、現在まで改善されていない32件の早期の除却及び新たな危険ブロックなどの改善を図ることを目的とするものです。

1. 経過

ブロック塀緊急調査の後、所有者に対し指導通知をしたものの、平成30年度中に除却等改善を図ったものは40件中わずか8件（2割）に留まり、所有者の改善意志を大きく後押しすることが必要でした。

2. 概要

平成31年度より、「ブロック塀等の安全確保に関する事業」による国の交付金制度を活用し、補助金の上限額を15万円から30万円の2倍に引き上げます。標準的な除却工事費では、これまでの補助金を1.5倍に引き上げるなど、大幅な拡充を図ります。



3. 補助制度の変更点

(1)現行制度

補助金 解体面積1㎡あたり4千円
限度額 15万円

(2)拡充制度

補助金 解体工事費の2/3の額
限度額 30万円



小学生が浦戸寒風沢島で田植え体験 ～浦戸小学校～

本市の浦戸小学校の児童が、浦戸寒風沢島の水田において、地域の方々のご指導をいただきながら、田植えを体験します。

◇ 浦戸小学校 田植え体験 ◇

1. 実施日 令和元年6月初旬(予定)

※現在、田の状態が落ち着いていないために、日程は未定です。

決まりしだい御連絡いたします。

なお、時間は13:40～14:40を予定しております。

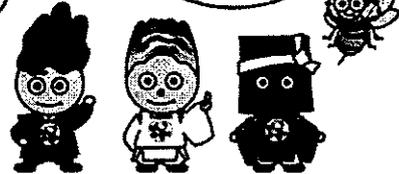
見学・取材の場合、塩竈発13:00(寒風沢着13:46)の汽船を御利用ください。

2. 場 所 浦戸寒風沢島の水田

3. 参加者 浦戸小学校1年生から6年生まで24名(予定)

毎日食べているお米が、どうやって作られるのか、自分たちの手で稲を触り、ぬかるみに足を取られ、泥にまみれて働く農家の人々の苦勞を子どもたち一人ひとりが全身を使って感じてほしいと思います。

今は、手で田植えをするところはほとんどなくなり、みな機械の時代です。また塩竈市には、塩竈神社の神田を除けば、寒風沢にしか田んぼがないので、子どもたちにとって本当に貴重な体験になります。



10月には、大きく育った稲を刈り取る「稲刈り体験」を行います
また、収穫されたお米は市内各学校の給食に提供される予定です

塩竈市立浦戸小中学校は、浦戸諸島の中の野々島にあり、平成27年4月から施設一体型の小中一貫校として、新たなスタートを切っています。

平成17年度から「小規模特認制度」を取り入れ、小中併設校として11年間の準備の後、文部科学省から教育課程特例校の指定を受け、独自の教科「浦戸科」を設けたり、小中学校の「乗り入れ授業」や小中学生の「ふれあい学習」などを行ったりと、浦戸ならではの小中一貫教育を進めています。

「浦戸科」では、浦戸の恵まれた自然環境や文化、伝統などの地域素材に触れながら、田植え・稲刈り体験をはじめ、海苔すき体験や牡蠣向き体験などの自然体験学習や、地域の自然や歴史を題材とした演劇活動「ACT」など、地域の特性を生かした学習に取り組んでいます。

お問い合わせ 塩竈市教育委員会学校教育課 TEL: 365-3216

塩竈市立浦戸小学校 TEL: 369-2412